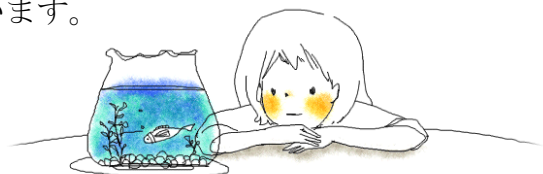


子どもたちに
胸のはれる政策を！

田中
まどか

家族の形態が急速に核家族化、多様化、不安定化し、問題を抱えた家族に対して、これまでの福祉のしくみでは支援しきれない事例が増えています。本当に有効な支援とは何か？
社会の変化とともに、法の縦割りを超えた包括的な支援が求められています。



9月議会 まどかの一般質

精神障がいの親をもつ 子どもへの支援

親に精神障がいがある場合、子どもが親の不調について理解することが難しく、不安を抱えていることが多いのですが、提供される支援はあくまで障がいのある親へであって、同居する子どもへのケアはされていません。市は今後、障がい者相談支援員との連携や教育関係者への啓発を進め、早期に関係機関に繋がると回答しました。

ヤングケアラーへの支援

ヤングケアラーとは、家族の介護やケアを担う18歳未満の子どものことです。年齢や成長に見合わない負担や責任が、子ども自身の生活や教育に影響を及ぼすことがあります。研究者によると小学校中学年から増え、発見者の40%が教員だとのことで、福祉関係者だけでなく教育関係者への啓発を提起したところ、前向きな回答を得ました。

多問題家族への支援

貧困、虐待、DV、不適切な子育て、障がい、ひきこもり、認知症、介護などの問題が複数かさなり、解決が困難な家庭への支援は、法律の縦割りや個人情報の壁があるために、家庭全体を支援できる仕組みになっていません。市は今年度、庁内の各分野が連携して対応するための「複合課題調整チーム」を設置したのこと。また、行政や地域からの孤立を防ぐため、地域の支え合いのしくみを活用していく考えです。血の通ったネットワークを巡らせて「誰一人取り残さない社会」をめざしたい。そのために、まずは相談窓口をしっかりと整えることが重要と考えます。

脱プラスチック 先進自治体の取り組みを見てきました⑥



メディアでも取り上げられ、多くの人が知るようになった海洋プラスチックによる環境汚染。8月に脱プラスチックの最先端に行く京都府亀岡市と京都市に視察に行ってきました。両市とも、ごみの分別や資源回収はもちろんのこと、レジ袋の有料化、エコバッグ、マイボトルの推奨、給水スポットの設置、祭りやイベントでのリユース食器導入など、あらゆる取り組みがされていました。

重要なのは、「脱プラスチック」によって、観光客誘致、農産物のブランド化、企業のイメージアップ、市民の意識向上などが図られ、環境保全が経済活性化、地域活性化につながっているということです。日高市でも給水スポットの設置や市民まつりでのリユース食器導入など、できることから取り組んでいきたいですね！

まどか・まよかの議員活動レポート

移住したいまち日高！

新人議員として、2回の定例会を経験し、日々、色々な方と出会い、新しい発見があり、おかげさまで、とても充実した日々を過ごしています。いよいよ、まちづくりに力を入れていきます！一緒に住みよい日高をつくりましょう～♪

松尾
まよか



私の政策の柱です！

1 9月議会は、**移住促進**について

*詳細は市発行の「議会だより」をご覧ください

日高市は、このままではあと20年間で、子育て世代の女性が半減するという試算が出ています。急速な少子高齢化、これに歯止めをかけないと、これまでのような暮らしは難しくなります。

私は、日高を選んで移住して来ました。他にはない、日高ならではの魅力を感じています。そんな日高の強みをしっかりと戦略的に育てて行けば、日高を「移住したいまち」として日本中に、そして世界にPRすることも十分可能だと考えています。

今、市では日高のこれからの10年を決定する「第6次総合計画」の検討が始まっています。待ったなしの危機感を持って、移住に重点を置いた戦略を練り上げるべきという観点で、一般質問しました。具体的な要望については、とても前向きな答弁をいただきました。あとは、実際、どれだけ考え込まれたものになるか。とても大切な計画なので、皆さんもウォッチしててください！



積年の夢が、ひとつ実現！

2 「**トランジション・タウン高麗**」が活動スタートしました

トランジション・タウンってご存知でしょうか？トランジションは「移行」と直訳できますが、従来の石油に依存した大量消費を前提とした社会から、**地域での自給、循環、助け合い**...そういったものを大切にした**持続可能な社会**に移行していきましょう、という草の根 市民運動です。



イギリスで始まり、現在世界に約1000、日本でも約50のトランジション・タウンがありますが、高麗地区でも、共感する有志が集まりこれに名乗りを上げました！

これから色々活動していきます。ご興味のある方、是非お知らせください♪！



Topic

森のようちえんってなあに？

自然の中での幼児教育を行う運動や団体。

幼児期に、自然の中で思い切り自由に遊ぶ体験をたくさん積み重ねることが、心身の発達や能力開発において非常に大切であると言われ始めている昨今、そんな体験を重視した幼稚園、保育園、サークルといった活動が全国に広がっています。

日高にはなんと2か所（清流、楡木）もあります！

自然体験は、日高で子育てする醍醐味のひとつ！ご興味ある方、是非体験に足を運んでみてください♪。



お知らせ

● 定期開催「まちづくりカフェ」

内容：テーマ勉強会/議会ってなあに？/座談会
日時：毎月第2日曜日10:00-12:00
場所：ぷーちゃんち。(高麗本郷253-1)予定
参加費：500円
問合せ：陳富子(080-4068-8877)or松尾

● 「ビオトープをつくろう！」

内容：パーマカルチャーな庭造り体験
日時：11月2日(土)9:30-16:00 入退場自由
場所：松尾宅(横手435)
参加費：無料
問合せ：松尾(080-4449-7858)

日高には未だない!!

「議会基本条例」ってなあに？

議会の役割や運営を定める条例

地方自治体における議会ってなんなんだろう？と疑問に思われる方も多いのではないのでしょうか。議員は単に行政に質問をするだけで、影響力がない、市町村に議会は必要ない、そんな意見もあります。

しかし、地方分権が進むなか、地域に根付き市民の生の声を地方自治に反映させていくのが議会の役割です。問題は、それが有効に機能していないことではないのでしょうか。

そこで、ここ15年、全国の市町村で、議会基本条例というかたちで、**きちんと議論される議会**を目指し、**議会の理念、議員の責務、情報公開、住民参加**などをうたい、議会改革を進める動きが出ています。

全国では約半数の市町村が制定！
周辺地域で制定した市町

- | | | |
|-------|--------|---------|
| ✓ 飯能市 | ✓ 坂戸市 | ✓ 嵐山町 |
| ✓ 所沢市 | ✓ 鶴ヶ島市 | ✓ ときがわ町 |
| ✓ 秩父市 | ✓ 東松山市 | ✓ 三芳町 |

基本条例で常識になりつつある規定

- ・ 政策討論会の実施
- ・ 議会報告会の実施
- ・ 市民から議会モニターを選出
- ・ 請願者・陳情者による意見陳述

→日高市議会でも条例制定を目指し、他市事例の検討や、議会改革委員会の立上げなど、進めていきたいと考えています。



これらも継続課題！

老朽化のため、 学校給食センターの建て替え計画

同じ場所に建て替えるのか、新しい土地に建てるのか、民間資金を入れるのか、感染症やアレルギーへの対策は万全か、食材や食器は？
食育の観点は？災害時の対応は？

昨年から今年にかけて、公募市民も入って「学校給食センター整備計画市民検討会議」が開かれ、計画も固まってきたようですが、子どもたちの育ちのために、委員や保護者だけでなく私たち市民が関心を持って、意見があれば教育委員会に届けましょう！



みなさん1人ひとりの声が力になります！

普段、市に対して感じていること、この通信を読んでのご感想、リクエストなど、皆さんのお声を、市の問い合わせフォームや、私たち議員に届けてください！

皆さんの声が市に届いて初めて、市政は変わります。

★ 日高市ホームページ：市へのご意見・ご要望はこちらへ→
<https://www.city.hidaka.lg.jp/cgi-bin/inquiry.php/1>



田中まどか

住所：武蔵台1-29-2

電話：090-9003-7344

メール：madoromi29@hanno.jp

ブログ：http://blogs.yahoo.co.jp/ madmakochan



松尾万葉香(まよか)

住所：横手435

電話：080-4449-7858

メール：mayoka.matsuo@gmail.com

HP：http://mayoka.info



まよか どか 通信



みんなで
つくるまち日高！

2019

vol.2

日高市議会
議会報告・議員活動報告

9月議会の様子

埼玉県初！ソーラーパネルを規制する条例が制定されました。

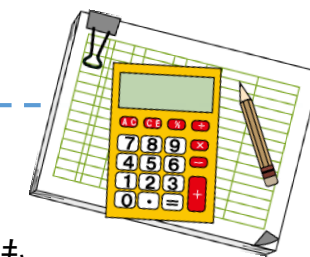
8月22日、臨時議会が招集され、「日高市太陽光発電設備の適正な設置等に関する条例」が全会一致で可決され、即日公布、施行されました。

災害の防止や環境・景観の保全を目的にしたもので、日高市内では事業者は事前に市長の同意を得ることが義務となりました。また「特定保護区域」も指定し、この区域では「市長は同意しない」となっています。現在計画されている高麗本郷の建設予定土地も特定保護区域にあたります。

とはいえ、林地開発許可は県の権限です。そこで、次は県条例の制定を求めていると考えています。この開発を止めたい市民の声は大きく、反対運動を行っている住民団体「メガソーラー問題を考える会」に集まった署名は既に5,000筆を超えています。「横手友好会」からも県議会に対して請願が提出されています。

一方で、大きな森林を保有する地権者の方々の、これまでのご苦勞を鑑み、行政として取り組んでいく必要があります。

まだまだ収束を迎えないこの問題、今後ともご協力お願いします。



注目議案

平成30年度決算の認定

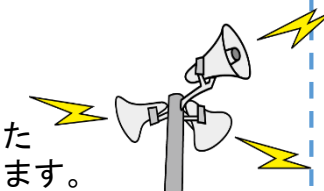
決算特別委員会において審査され、一般会計、事業会計、各特別会計ともすべて認定されました。決算特別委員として審査した田中は、事業効率の低い事業の見直しや事業的達成のための新たなアプローチ、補助金交付団体の整理、経費積算の精度向上、経常収支比率の改善など、今後の予算編成への課題は多いと感じました。

会計年度任用職員の報酬等に関する条例

これまで自治体によってまちまちだった非正規職員の任用が統一され、「正式採用の有期雇用の地方公務員」をはじめ法律で認めるという公務員制度の大転換です。任期は年度内（最長1年）で再任は保障されません。守秘義務などが課せられる一方、雇用期間により期末手当等が支給されるようになります。日高市の非正規率は50%近く、この制度が日高市民への行政サービスにどう影響するか、しっかりと見て行きたいと思います。

防災行政無線のデジタル化の工事請負契約 3億9,600万円

デジタル化されると、子局も増え、高性能スピーカー導入で聞こえなかった地域も聞き取りやすくなります。スマホやパソコンへの同時配信も可能になります。



一般会計補正予算（第4号）

幼児教育無償化のための予算、地域支え合い体制整備の委託料、森林環境贈与税基金の設置、水路整備の予算、新しい高萩公民館の基本設計委託料など、重要な予算が計上されていました。（田中はマイナンバーカード関係の予算に反対しました。詳しくは議会だよりをご覧ください。）